

地域にはばたく市民パワー！

**ところざわ倶楽部 「広場」**

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2014 年 6 月号 (第 73 号)

発行責任者 薄井 文子



第3回文化祭「とこしゃん体操」

**第3回 文化祭 “お祭り”を原動力に！**

会長 薄井 文子

年に1度の会員の皆さまが集う「お祭り」になることを願って企画した「文化祭」。

作品を出品して、また舞台に出演してご参加くださった皆さま、会場で観て楽しんでくださった皆さま、参加の形はいろいろですが、文化祭を盛大に開催することができました。そのご協力に心から感謝を申し上げます。

2月募集当初は出品や出演の応募者が集まるか大変心配な状況でした。3月になって少しずつ出演の申込みが届きました。個人での発表も歓迎ですが、サークル単位で一つの課題に取り組み熱心に練習を重ねているという情報を耳にしました。今回は「歴史散策クラブ」や「民話の会」「ドラマティック・カンパニー」の活動関連の発表やサークルが纏まり普段の活動とは違う方面の取り組みをしたり、

また会場を巻き込む楽しい演目での出場と多彩になりました。文化祭に向けての練習風景を早速取材に行き、「広場」5月号でご紹介しました。会員の皆さまが、「文化祭」は参加しなくては意味がないと、汗を流し、完成を夢見て練習に励みました。

事業部長の杉浦さんの指揮のもと準備を進め、当日は事業部はじめ理事の皆さんが一丸となって協力しました。今年度は前日から作品の搬入が可能であったこと、リハーサルもできました。

倶楽部会員が「一つの家族」のようにお互いの発表を楽しみ、「文化祭」が倶楽部みんなの「お祭り」として、倶楽部発展の原動力になることを願っております。

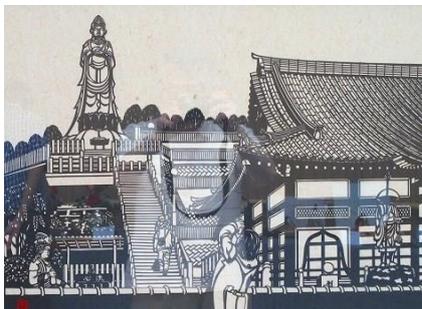
今年は参加の機会を逃してしまった方、次年度も、全員参加の楽しい文化祭をつくりましょう。

## 写真で見る「倶楽部・第三回文化祭」【展示部門】

倶楽部会員アーティスト約 50 人の絵画、写真、工芸、手芸などすばらしい作品が、ホールホワイエに飾られました！



書：曾部康子 能面：多胡國男 切り絵：杉本哲雄



写真：渡邊晴雄



むさし野俳句会



源氏物語人形：並木啓子



生け花：安田好子

## 平成 26 年 5 月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

5月理事会は12日（月）に開催された。

・これは運用規定改正の中で新設予定、その際、改めて案を提出することとする。

### 1 会長事案

- (1) 5月8日開催の21期企画委員と修了生3団体との交流会報告
  - ・企画委員6名、さんさん会1名、OB会3名、倶楽部7名の参加
  - ・3団体の概要説明、市民大学の経緯、21期講座、活動報告
  - ・意見交換として「3団体は一本化できないか」、倶楽部に対しては、「倶楽部理事会とサークル役割の明確化」など

### 2 総務部事案

- (1) あり方検討委員会経過報告
- (2) 「ところざわ倶楽部事業主催の考え方」の説明
  - ・これに対し「サークル主体事業主催の場合の経費負担が不明確」、「過去の事業部主催でサークル協力がどのようなものだったかを」検討、意見あり。

### 3 事業部事案

- (1) 文化祭のスケジュール、役割分担、今後の作業予定決定
  - ・羽子板製作実演は民間業者であるが、今回はテストケースとして認める。
- (2) 文芸講座現在までのまでの参加申し込み者 58人（会員44、一般14）
  - ・7月1日のオプションは、講座第1回の際、募集する。
- (3) 地域の祭り研究会主催 「寒川神社・相模薪能」見学者募集

### 4 広報部事案

- (1) 「広場」5月号内容紹介
- (2) 「広場」6月号企画紹介

## 白熱の舞台！数々の名演技！名演奏！【演芸部門】

第3回文化祭は5月30日（金）開催、200人近い来場者があり成功裡に終了しました。今回、舞台演目10点、展示品65点と数も増え、文化祭が年々発展し、ところざわ倶楽部のメイン行事となってきました。今年は「安来節」「根古屋城跡紹介」とこしゃん体操」といった新しい演目も披露され、大勢の観客の拍手を浴びていました。

今年初めから出演サークルの皆さんの練習に打ち込む姿や作品を作る姿勢に敬意を表すると共に、また来年も素晴らしい文化祭が開催されることを祈念いたします。今回文化祭開催にご協力いただいた出演者、出展者、関係者の皆さんに心よりお礼申し上げます。

事業部長 杉浦 正紀



ドラマティック・カンパニー  
朗読劇(笠松先生)



北歐の会  
ピアノ演奏(児新さん)



楽悠クラブ  
混声合唱



民話の会  
民話かたり「福猫塚」



野老澤の歴史をたのしむ会  
安来節



岡本ブラザーズ  
尺八・オカリナ・鼻笛演奏



歴史散策クラブ  
「根古屋城跡」発表



懐かしの映画・観賞会  
和太鼓と踊り



とことこバンド  
演奏とソロ

午後1時から約3時間、各サークルのバラエティー豊かな名演技、名演奏に観客は時間を忘れて魅了されました。出演者と会員が一体となった文化祭も「とことこバンド」の演奏で午後4時、感動につつまれフィナーレを迎えました。

※詳細はところざわ倶楽部HPをご覧ください。

## 「21期市民大学企画委員」・「OB3団体」交流懇談会

理事 田中 建夫

市民大学企画委員会（21期）と修了者を受け入れる3つの団体（「さんさん会」、「OB会」、「ところざわ倶楽部」）が一堂に会するのは今回が初めてです。市民大学受講生が修了後も学びや仲間との交流を続けていくために、3団体がどのよう

な受け入れ態勢があるのか説明いただきたい。また、受講生に対してはじっくりと説明する場を設ける予定です。今日はその前段階として、懇談会形式で忌憚ない議論をお願いいたします。

（司会者挨拶）

日 時：平成26年5月8日（木）13:00～16:00

場 所：生涯学習推進センター202号室

出席者：（敬称略）

司 会：二上拓夫（第21期企画委員）

市民大学第21期企画委員：渡邊晴雄委員長、  
小川英樹、岡崎久子、落合敏、田渕喜代子ところざわ倶楽部：薄井文子会長、森下尚洋、  
杉浦正紀、阪口義男、仲山富夫、岡田俊吾、  
田中建夫

OB会：七井孝夫会長、秦行夫、清水ミヤ子

さんさん会：加曾利厚雄会長

生涯学習推進センター：飯島美紀

### ＜ところざわ倶楽部概要＞ 薄井会長

市民大学第14期生によって設立され、当初90名であった会員は現在273名を数え、20サークルを有する。中心となるサークル活動の学びを通し豊かな市民社会を実現し地域に貢献することを設立の目的としている。

2年次の講座を継続するか、新たなテーマでサークルを結成するか、または既存のサークルに入会するなどの選択肢がある。ところざわ倶楽部では広報紙「広場」に加え、HPも開設しているのでその活動状況をいつでも知ることができる。



### ＜OB会概要＞ 七井会長

平成10年に会を立ち上げ、今まで毎年5名程度が入会していたがこの3～4年は年15名程度が入会し、現在は124名である。

親睦と学びを通して地域社会に貢献することを会の目的としている。

学びはたくさんというひともいるので遊びなども取り入れている。主な活動としては、

- (1) 講座、講演会、工場見学などの事業  
（年3回実施）
- (2) 趣味の7サークルからなるレクリエーション事業

### ＜さんさん会概要＞ 加曾利会長

3団体の中では最も古い設立。現会員数は78名で企画を担当する人は74名。具体的には、12月に全員でフリートーキングを行い次年度の定例行事を決め、ほぼ全員が各行事を担当する形態を採っている。さんさん会は男女がほぼ半々であるのが特色で、女

性の意見が大いに反映される。今後、新しい参加者の目を大切に、常に新しい事業や学習に取り組んでいく。

全員での団体行動が難しい行事には「この指とまれ！」方式により10名程度で実施している。

### ＜市民大学の経緯＞

#### ところざわ倶楽部 阪口氏

1993年の発足時150名（人間学50名、地域学50名、現代学50名）であったが、16期からは定員80名のみとなり競争率が高くなっている。

10期から修了者が学習企画に本格参入し、学びの記録とグループワークの記録を作成。14期から2年制がスタートし3コースを一本化。

16期に生涯学習推進センターがオープンしたが定員80名に対しては不満があった。市民大学での学びを地域に広めるべきで、学び中心の仲間の方が長い付き合いとなり得る。

### ＜21期企画委員の活動＞ 渡邊委員長

企画委員は15名で、講座は過去の受講生の評価と今後の社会性を考えて選定した。

新しく5つの講座を設けた。特に美術（齋藤陽一先生）を採用したことは画期的であった。講師は財産であり講座終了後も繋がりをもち続けたいものである。

市民大学は半日授業のため受講生同士のコミュニケーションが希薄になりがちのため、受講生が座談会形式の趣味のサークル「わいわい座談会」を作って親睦の場としている。現在10サークルある。卒業後、3団体にどのように係っていくのか今のところ不透明である。

# 市民大学修了者の受け入れ態勢は？

1. 修了者受け入れ団体である3団体の一本化について
  - ・受講者の立場からみて修了者の会話は話し合っただけで良いところ取りで一本化すべきと考える。
  - ・行政は「0B3団体」を平等に考えている。また、生涯学習推進センターにおいて一本化することは難しい。
  - ・それぞれの設立動機と経緯ならびに現状の運営形態から今のところ一本化は無理である。
2. 三団体の協力について
  - ・一本化にはメリットない。三団体が密に協力して受講生を受け入れることが大切である。
  - ・「ところざわ倶楽部」はサークル活動の中で公開すべきテーマが多くある。例えば倶楽部の「傍聴席」のテーマは一般市民にも役立つので三団体が協力して公開講座などで市民に輪を広げることができる。また、三団体が協力すればさらに充実した講師を呼ぶことも可能と思われる。



3. 「ところざわ倶楽部」への提言
  - ・普段サークルだけで活動していると倶楽部の会員である意識が薄い。倶楽部の目的に合った各サークルの活動を倶楽部主催事業として取り上げ、積極的に参加をアピールして会員の自覚を高められるようにしたい。
  - ・倶楽部の主催事業を会員が自ら利用しようと積極的に参加することで多くの学びや楽しみを享受できると考える。自分から進んで参加しないと倶楽部のメリットも見えてこない。
4. 市民大学の必要性
  - ・修了後の活動では地域や社会への貢献に広く寄与している実績がある。

5. 市民大学の定員増について
  - ・受講希望者を全員受け入れられないことは損失である。対策として受講生の増員が必要と考える。また、80人の受講体制ではいずれ企画員の確保も難しい状況になることが懸念される。
  - ・増員とともに若返りも図るためには平日開講の他に土日開講を働きかけるのも一案である。
  - ・講師の人員増や教室の拡張など検討の必要はある。
6. 市民大学修了予定者の受け入れ
  - ・三団体は多様なニーズの受け皿になり得る。択一ではなく全団体に入会する選択肢もあり、入会して初めて実態や特色がわかるので、納得いかなければ退会もあり得る。
  - ・受講生の疑問を予めまとめておく。また体験入会などお試し期間を設けることも考えていく。

## <修了生への合同説明会について>

- 21期生に対する三団体合同の説明会を2回実施することにした。
- 一回目は7月17日13:30から各団体が30分として合計1.5時間で行う予定。
- 二回目(21期修了時)は各団体10分として合計30分とするが、日程は今後検討する。



## 21期新講座



21期の講座で新しく設けたのは以下のとおり。

1. 人文科学・文学 (高橋敏夫先生・早稲田大学大学院教授)
2. 美術 (齋藤陽一先生・美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」担当)
3. 自然科学・環境 (王青躍先生・埼玉大学大学院准教授)
4. 政治 (成田憲彦先生・駿河台大学大学院教授)
5. 社会科学・教育 (菊池栄治先生・早稲田大学教授)
6. 所沢学 (三上博司先生・町の歴史伝承ボランティア「町造」)

## 新入会員紹介

## ～ところざわ倶楽部に入会して～

3月号に続き、20期修了の5名の新入会員を紹介！ それぞれの入会の動機、抱負を語って頂きました。

 <p><b>高藤 博子</b> サークル：みんなで学ぼう認知症 出身地：山形県 趣味：囲碁・革で作る袋物</p> <p>市民大学では、脳の科学の「認知症の予防」を学びましたが、まだ延長線上の通過点に過ぎず、これで終わりではありません。楽しみながら、予防という観点から学んで行きたいと思えます。</p>	 <p><b>中村 久郎</b> サークル：野老澤の歴史をたのしむ会 出身地：岡山県 趣味：旅行</p> <p>これという得意なものはありません。市民大学で触れ合った縁が今日まで続いてとてもありがたいです。皆さんとお話をしているいろいろな経験をしていく事が出来るのはなによりも楽しみです。</p>
 <p><b>高瀬 成一</b> サークル：みんなで学ぼう認知症 出身地：東京 趣味：囲碁</p> <p>元気な倶楽部会員諸氏に接してその元気のおすそわけにあずかり、私自身の健康寿命を少しでも延ばせたらと、虫のよい考えを持って入会しました。宜しくご指導の程を…。</p>	 <p><b>渡部 和哉</b> サークル：みんなで学ぼう認知症 出身地：宮城県 趣味：ジャズ鑑賞・テニス（休止中）・読書（推理小説）、ゴルフ（健康の為）</p> <p>認知症にならないために、認知症罹患予防法について所沢市民大学で得た知見を更に勉強できる場所として倶楽部メンバーと共にスタディーしてゆきたい。</p>
<p><b>小山 健次郎</b> サークルは「みんなで学ぼう認知症」に所属</p>	

## こんな事あんな事 ㊦

## より緊密に支え合う関係を！

中村 直子

先日お向かいの方が、2日間帰られなかった。その方は、一人住まい、80歳を越しても車に乗り、絵画クラブに通っていた。

ご家族から「昨日絵画クラブの先生に、今から行くと電話をした後、そこへは行かずに出かけたまま帰って来ていないのです」という話を聞き、自分の前日の行動を考えた。しかしその日はお目にかかっておらず、どのような服装で出られたかさえわからない。探しようも無く不安でいると、夕刻「自分で帰ってきた」とご家族から連絡がありほっとした。

私の家の前がこの方、そのお隣が女性お一人、その隣は男性のお一人住まい。お二人そろっている裏の方もそろって後期高齢者と、いつ何が起こってもおかしくないご近所さんたち。しかし、いまの地域住民・隣人はお付き合いの中でなにかできるのだろうか。

小手指に住んでいた頃、小手指公民館分館にいらした細山さんのもと、地域で楽しく安心して暮らし

続けていきたいと「地域福祉」を学び、茶話会を開いたり、ボランティア活動をしていた。公民館に来られる人と来られない人が一緒に楽しい時間を過ごすことができたと思う。

その後も、細山さんとは「市民大学の仲間も、元気なときだけでなく、支えあえる仲間でありたい」と話し、細山さんが長野に転居した今も、仲間と、『生涯学習推進センターのコミュニティールームを使って、月一度でも気楽に卓話でも聞きながらおしゃべりを楽しめるような会をやりたい』と話している。

それぞれのサークル活動はすばらしく、好奇心と魅力に溢れている。このいい友達・仲間たちとのより緊密な・支えあえる関係を、今から作っていかれたらと思う。そしていつか、市民大学の世代を超えた仲間たちにより、地域の福祉活動の輪を広げていかれたらと願っている。

# サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

## アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)

6月18日(水) 13:30~16:30 定例会  
「マナスル トレッキング」 中央公民館  
7月16日(水) 定例会 中央公民館  
詳細は後報にて

## 公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

6月26日(木) 「サントリービール工場見学と府中の森公園散策」9時 JR 新秋津駅改札前集合、雨天決行  
7月24日(木) 八国山緑地周辺の散策

## 地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)

6月14日(土) 梶谷八幡湿地 草刈り 8:00~  
6月22日(日) 早稲田大学外来植物除去 9:30~13:00  
6月24日(火) トトロ12号地管理作業 10:00~12:00  
6月28日(土) 梶谷八幡湿地ホテル観賞 18:30~

## 地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

6月17日(火) 定例会 9:00~11:00 新所沢東公民館  
エコ見学会・講演会の検討、各自課題発表他  
7月15日(火) 定例会 9:00~11:00 新所沢東公民館

## 野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)

6月19日(木) 所沢の鉄道119年-12の停車場物語-  
中央公民館 13時30分~14時30分  
7月3日(木) ロッテ狭山工場見学  
集合 所沢駅1番ホーム 9時00分集合

## 懐かしの映画鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

6月10日(火) 10:00~12:30 西新井町公民館  
「邦画 おはよう」(59年) 笠智衆・三宅邦子・設楽幸嗣  
6月24日(火) 10:00~12:30 西新井町公民館  
「洋画 シェーン」(53年)アラン、ラット・ジェーシ他

## 北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

第50回例会 6月28日(土) 13:20~  
北欧ヨーロッパ各国のエネルギー事情  
場所 新所沢東公民館

## 歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

6月14日(土) 九品仏浄真寺~等々力溪谷散策  
集合: 所沢駅2階改札内、8時45分  
7月26日(土) 座学、再び大石氏について(門内氏)  
&暑気払い 集合: 新所沢東公民館、9時30分

## 食を通して所沢を知る会(鷹田良彦 090-5550-8015)

7月1日(火) 10:00~ 定例会 場所: ふらっと

## みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)

6月23日(月)、及び7月28日(月)2ヵ月に渡って  
13:30~ 生涯学習推進センター101号室  
NPO法人「思いで語りの会」的野先生の座学

## 葵の会(池田新八郎 2940-0711)

6月12日(木) 中央公民館 13:30~16:00  
古典講座「万葉集第6回 庶民の哀歌」  
7月10日(木) 中央公民館 13:30~16:00  
古典講座「井原西鶴傑作選第1回 日本永代蔵」予定

## 楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

6月10日(火) ①パヴァロッティ特集I. 歌劇「ボエーム」  
②ベートーベン交響曲第6番  
7月8日(火) パヴァロッティ特集II. 歌劇「仮面舞踏会」  
いずれも、(場)中央公民館#8・9 (時)13:15~

## 地域の自然(加藤司則 2998-3922)

6月14日(土) 9:00~ 畑の草取り、さつまいも苗補植  
場所: 早大・B地区畑  
6月28日(土) 9:00~ 毎木調査、林内整備  
場所: さいたま緑の森博物館(所沢市分)

## 地域の祭り研究会(加藤敏恭 2923-5263)

6月19日(木) 9時 幹事会 新所沢公民館  
7月 未定

## 所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835)

6月12日(木) 定例会(新所沢公民館 13:00~)  
6月下旬 ハイキング又は、散策(場所未定)  
7月10日(木) 定例会(新所沢公民館 13:00~)  
※毎週(日、木) 9~11時 市民大学ファーム作業

## ドラマティック・カンパニー(小坂英子 2995-1495)

6月7日(土)、21日(土) 10:00~12:00  
7月5日(土)、19日(土) 10:00~12:00  
『ヘンリー六世』を読み進めます。  
会場: 新所沢東公民館

## 傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

①6月9日(月) 学習会、14時~16時、新所沢東公民館  
テーマ: 市議アンケートと選挙公約の検証(続き)。  
②6月16日(月) 定例会、「構想日本」伊藤伸氏の講演  
詳細は倶楽部のHP、傍聴席の例会予定をご覧ください。

## 民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)

6月20日(金) 中央公民館(学習室7号)  
7月以降の活動計画作成(特に、しんとこ「いきいきク  
ラス」の事業参加へ向けて、具体的に検討)  
7月18日(金) 中央公民館(学習室4号) 民話朗読

## 歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)

6月13日(金) 花菖蒲と東村山の歴史を訪ねる  
7月4日(金) 近隣の博物館を訪ねる  
8月29日(金) 門内先生講義と懇親会(計画中)

## 所沢ニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

6月10日(火)10:00~定例会 生涯学習推進センター  
6月17日(火)10:00~定例会 生涯学習推進センター  
7月15日(火)10:00~学習会「出前講座」高齢者の社会活  
動が可能となる環境の整備をはかるために! 同上会場

【私の健康法】

“HbA1c”と闘う 佐藤 滋

私は2型糖尿病(生活習慣に起因するもの)である。3年前から、生活習慣の改善に取り組んでいる。そのころのHbA1cは、6.9~7.1%だった(HbA1cは過去1~2カ月の血糖値の状況を示すもので、ここでは2012年に変更された新基準=NGSPで表記している)。勿論、HbA1cに代表される血糖の改善はできるが、糖尿病の完治はできない事を知っている。しかし、なってしまったものは仕方がない。幸い、腎機能に異常は無く投薬の必要も無かったが、HbA1cの悪化に歯止めをかけ、すこしでも改善したいとの思いだった。

実行しているのは、①1週間の目標歩数を決めて毎日歩く事、②食生活を改善する事、③「市民大学」や「ナイスミドル健康講座」、「ところざわ倶楽部」でのサークル活動、といった社会参加等により日常生活を充実させる事、④定期的に通院して医師の診察・指導・助言を受ける事、である。

改善着手から1年半を経過した頃から成果が出始め、昨年度から「HbA1c6.0%未満の継続」を目標にしている。その結果、昨年度のHbA1cは5.6~6.0%(6.0%は今年の1月のみで、他の11カ月は6.0%未満)、内臓脂肪レベルも3年前の半分に改善しており、風邪もひかなくなっている。このように、生活習慣の改善は健康につながるものだが、血糖の改善は「治療」である。高血糖だけでなく低血糖にも注意する必要があるため、自己採血して血糖値を測定しているが、HbA1cも安定し生活習慣の改善も定着しているためその頻度も減り、だいぶ手がかからなくなっている。ひと山越えた感もあるが、油断せずに「腹八分」を心がけ、継続して行こうと思っている。

《編集後記》

▼「私の健康法」5月号の筆者前岳良子さんの体操教室に私も行っていた。そうそう…と思いながら読む。「呼吸は吐き切り新しい空気を鼻のフィルターを通過させ」と。▼4月恒例の謡曲の大会があった。公民館サークルで学ぶ私たちは連吟で参加する。そのシテ役を今年は順番で受けた。先生の子息の若先生の稽古の時ご注意をいただいた。“息を鼻でもするように、口だけでしてますよ”と。家で謡ってみると、やあ、無意識に口を開けている。そうなんだ…。▼朝日新聞の切り抜き「声、生き生きと」をサークルのメンバーに配った。そこにも「はい、口を閉じて鼻から吸って」「吐く息に乗せて声を出す…」一人でもできるボイストレーニングとして・はあ〜とあくびをする・口を閉じふんふんふんと鼻を鳴ら

老鷹や崖の崩落まだ止まず  
夏場所や行司はみんな日本人  
場所入りの雪駄の音の薄暑かな  
フラメンコのスカート柄き青風  
老農のたたら踏みたり大南風  
奥座敷一段高く武者人形  
春深し天地返ししの棚田かな  
嬰兒は歯の出でたるや武者飾る  
母逝きしあの日の朝の薄暑かな  
堤防を駆け降るる子や薄暑光

鈴木 征子  
河瀬 俊彦  
小林 貞夫  
小林 典子  
佐藤 八郎  
白神 恵子  
高梨 千代  
高橋 三加子  
高光 泉  
利根川 啓一

かの味をたしかめんとて茅花囃む  
素直には二の腕出せぬ薄暑かな  
跡取りは泣き虫小僧武者人形  
羅(うすもの)の身八口にも風之道  
菊根分欠かさぬ事も母供養  
風薫る柳川下る婚の舟  
墨提に月上りけり祭舟  
一望の河岸段丘緑さす  
大戦の形見もともに武者飾

中嶋 弘子  
中村 直子  
橋本 佑子  
平栗 彰子  
荒幡 千鶴子  
飯泉 陽子  
井出 昇  
海老澤 愛之助  
粕谷 のぼる



むさし野俳句会(二十六年五月) 作品集



す・50音を声に出し 顔の筋肉を動かす。謡曲の会は夢中で終わってしまった。次の「トロイアの女たち」では頑張ろう。▼広報部員になって半年。印刷と発送を担当してます。印刷では長岡さんの表紙写真が鮮明であるよう気を配る。でもカットが消えてしまった…と失敗は続く。それでも誰も責めたりしません。皆さんとても優しいのです。編集会議でいつも一番声高で意見も多いSさんだっって人の失敗には何も言いません。皆さん自由に発言していて私はこの空気を楽しんで聞いている。▼1月号を発送するとすぐに来た年賀状、「ところざわ倶楽部の広報紙をありがとうございます。」と。K先生の奥さんありがとうございました!▼それから大事なこと 皆さん原稿を有難うございます!! (記 八木雅子)